

# 富士のさと 訪問おはなし広場と自然遊び塾(出前講座)

## ○趣旨

幼児期における自然体験や本に触れる体験の機会を増やし、自然のもので遊んだり・触れたり、さまざまな本に触れたりすることを通して、豊かな人間性を築く基礎を培う。

## ○訪問した御殿場市内の幼稚園(8園/10園)・保育園(13園/16園)・こども園(2園/2園)

御殿場幼稚園, 富士岡幼稚園, 竈幼稚園, 神山幼稚園, 原里幼稚園, 原里西幼稚園, 森之腰幼稚園, 玉穂幼稚園, 東保育園, 西保育園, 原里第1保育園, 原里第2保育園, 玉穂第1保育園, 玉穂第2保育園, 高根第1保育園, 高根第2保育園, 高根学園保育所, すみれ保育園, 富岳保育園, 双葉保育園, みらい保育園, 印野こども園, 神山認定こども園

## ○活動の流れ

1つの活動を基本20分間(5歳児の箸づくりは45分間)とし, 3つの活動をローテーションで実施

	開始~0:20 (20分間)		0:30~0:50 (20分間)		1:00~1:20 (20分間)
3歳児	絵本の読み聞かせ (室内)	移動 (10分間)	削り華(かんなくず)を使った活動 (室内)	移動 (10分間)	身体を動かす活動 (室外)
4歳児	すべラップづくり (室内)		身体を動かす活動 (室外)		絵本の読み聞かせ (室内)
5歳児	身体を動かす活動 (室外)		絵本の読み聞かせ (室内)		箸づくり【※45分間】 (室内)

## ○内容(活動の様子)

### (1) 絵本の読み聞かせ 運営: 御殿場市立図書館ボランティア

図書館ボランティアが年齢に応じて自然に関する内容の絵本を選定し, 読み聞かせを行った。園児たちは, 絵本の世界にのめり込み, 話に耳を傾けた。大型絵本を駆使し, ダイナミックな自然の風景を見せることで, 園児のさらなる自然に対する興味・関心を喚起した。



### (2) 自然のものを使った創作活動 運営: 中央青少年交流の家職員

5歳児には「箸づくり」を, 4歳児には「すべラップづくり」を, 3歳児には「削り華(かんなくず)を使った遊び」を実施し, 発達段階に応じた創作活動を行った。「箸づくり」は, かんなどで木を削り, 箸の形にした後, 仕上げを紙やすりで行った。「すべラップづくり」は, 紙やすりを使って木の表面をつるつるに磨き, その後雑巾でこすってつやを出した。途中, 木目を観察したり, 活動の最後には, 年輪(木の年齢)の話をし, 木もみんなと一緒に生きていることを伝え, 作ったものだけでなく, 身近な自然や自分自身そしてお友達といった命あるものを大切にする気持ちを育むようにした。

3歳児の「削り華(かんなくず)を使った遊び」は, 一昨年度の園からの要望(3歳児も, 簡単にできる創作活動があるとよい)に応え, ほぼ全ての園で実施した。木のくずに触れたり, 匂いを嗅いだり, 長さを比べたりすることで, 言語活動につながるようなしかけを行った。また, 園によっては簡単な創作をしたりして, 園児たちは五感を使って自然の素材を楽しんだ。

【箸づくり】



【すべラップづくり】



【削り華を使った遊び】



### (3) 身体を動かす活動 運営：中央青少年交流の家職員

園庭に「丸太や切り株」・「スラックライン」・「ロープ」をサーキットコースに見立てて設置した。「丸太渡りやスラックライン」では、園児は手を広げてバランスをとり、落ちてもあきらめることなく何度も挑戦した。また、「ロープ引き」は、片方を固定遊具等に結び、自分の腕の力でロープを引っ張り、体を引き寄せる遊びで、「丸太渡りやスラックライン」とは違う動きに挑戦した。毎年行っている活動であるので、楽しみにしている園児も多かった。また、「去年は補助が必要だったけど、今年は自分ひとりで渡れた。」と、成長を実感した園児や園の先生方も多数いた。

単に身体を動かす活動をするだけでなく、園児に「朝ごはんを食べてきたかな?」「太陽の下で体を動かすと体の調子が良くなるよ」と声をかけ、朝食の大切さや運動の大切さを話した。待っている間は活動している友達を「がんばれー!」と応援することを促し、仲間を思いやる気持ちを育むようにしたりした。

【丸太渡り】



【スラックライン】



【ロープ引き】



#### 《園からの声》

- 大型絵本は迫力があって、「おー!!」と歓声が上がり、夢中になる姿がありました。
- 箸作り後の給食中、「この箸は何でできているのだろう?」と、材料や素材に興味を抱いていました。
- 丸太渡りやスラックラインでは、友達を積極的に応援する姿があり、クラスの雰囲気作りにつながったと思いました。園の合言葉「やってみよう」にマッチして子供たちがたくさん挑戦していました。
- 普段は口数が少ない子も質問に答えたり、発見や気付きから友達との会話が生まれたりしていました。
- 職員の方の子供たちへの声かけ、励ましの声が素晴らしく、子供たちの心を惹きつけていて、とても勉強になりました。園ではできない貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。
- 年輪に関心を持った子が、翌日「私の2段ベッドの木は28歳だった～」と教えてくれ、身近な木できている物から自然や生きていた力を感じていたようでした。
- 創作活動は、学年ごとに内容が異なるので、「今年はどんなことをするのか?」と親子で楽しみにしているようでした。

#### 《成果と課題》

- 園の満足度が95%を超え、園との良好な関係が築けている。今年度の出前講座は昨年度から1園増え、23園を訪問した。この連携から、日帰り遠足等で交流の家を訪れた園は2園増え、4園となった。
- 出前講座を参観日としている園もあるため、体験活動の重要性を保護者へも伝えることができた。
- 創作活動や身体を動かす活動についての研修を継続して行い、指導できる職員数を増やす。